

| | |
|-----------------|-----|
| 令和5年度代議員会 | 2 |
| 会長あいさつ | 3 |
| PTAかわら版 | 4～5 |
| お知らせ | 6 |
| 第39回広報紙コンクール | 6 |
| 国内研修事業 I N 渡嘉敷村 | 6 |
| 編集後記 | 6 |

笑顔あふれる親子行事

令和4年8月21日（日）夏休み最後の日曜日、空は晴天。石巻市PTA協議会主催の第1弾「楽しい思い出づくりツアー in 北上」を開催しました。

親子76名もの申し込みがありました。砂浜には、役員、※1市P協応援隊、ボーイスカウトの方たちが連携し、テントの設営、ゲームの準備で大忙しでした。

集合時間の9時にはお母さん、お父さんに手を繋がれ子どもたちが少し緊張して集まってきました。

初めてのグループメンバーとゲーム対抗戦。終わるころには、ハイタッチで和やかな雰囲気笑顔が溢れていました。

※1 石巻市PTA協議会役員退任者で「市P協応援隊」を結成しました。（2021年度結成）

通信員 浅沼 賢史



会長あいさつ

宮城県PTA連合会会員の皆様には、日頃より本会の活動に深いご理解とご協力を賜り、心

より感謝、御礼申し上げます。このたび宮城県PTA連合会会長を拝命いたしました東松島市の浅野直美と申します。どうぞよろしくお願いいたします。皆様におかれましては、長引

くコロナ禍でも多方面で試行錯誤されながら、PTA活動を推進してこられたと推察いたします。振り返れば学校行事やPTA活動の自粛、制限を余儀なくされることもありましたが、こ

うした中でも温かい眼差しで子どもたちを支え続けてこられたことに對し、改めて深く敬意を表する次第です。

さて、新型コロナウイルス感染症も感染症法上の5類に位置付けられ、新たな段階に入り、新しい生活様式や多様な価値観が尊重される時代となりました。PTAに対する考え方も多様化しています。私たちが地域や

社会に育まれて成長して来たように、次は未来を担う子どもたちに愛情をつないでいく責任があると考えます。互いに支え合い、子どもたち一人ひとりの健全な成長を図っていくことがPTAの目的であり、共に理解を深め合いながら歩みを進めてまいります。

そして、私たち大人が過ごす時間とは異なり、子どもが子どもでいる時間はとても貴重です。小学校、中学校生活の1年、1日、今この瞬間は決して戻すことはできません。子どもたちの「今」を大切に将来への糧となる実りある時間とするため、

家庭・学校・地域の連携をより確かなものとし、社会全体で守り育てる環境づくりを推進していくことが重要と考えております。

宮城県PTA連合会では、本年度の活動方針に「地域ぐるみで育てよう、心豊かでたくましいみやぎ子」を掲げました。この実現に向け、目的意識と主体性をもったPTA活動の展開に努めてまいります。

どうぞ、引き続き「みやぎの子どもたち」に惜しみない愛情を授けていただき、私たちも「今」しかないPTAとしてのかけがえのない時間の中で、親子共々充実したものにしていただければ幸いです。

「みやぎに生まれて良かった」と子どもたちが思えるような、より良い環境づくりに力を合わせてまいります。

令和5年5月30日

第34代会長 浅野 直美 Naomi Asano



プロフィール

家族構成：父、母、夫、長女、二女、長男の7人家族
マイブーム：家族で散歩
座右の銘：和をもって尊しとなす

第34代会長 浅野 直美

かわら板



多賀城市

城南フェスティバル2022

通信員 佐藤 聖信

市内のほとんどの学校でPTA行事が中止される中、令和4年11月12日(土)に多賀城市立城南小学校で「城南フェスティバル2022」が3年ぶりに開催されました。

当日は晴天に恵まれ、多くの来場者で賑わいました。子どもたちは、PTAの皆さんが準備したお店や有志の皆さんによるフリーマーケットや、ゲームを楽しみました。

また、多賀城市は令和6年に多賀城創建1300年を迎えます。多賀城跡の新たなシンボルとなる南門も完成しました。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

名取市

自衛隊の方々と 防災・災害対応体験

通信員 佐藤 繁樹

名取市立下増田小学校では、陸上自衛隊多賀城駐屯地の協力で、防災・災害対応について学びました。

校庭に本物の給水車、救急車が登場。子どもたちはその迫力に大興奮！隊員の誘導で車に乗ったり、車の役割の説明を受けました。

また、土嚢作りでは、袋に砂を入れて運び積み上げるまでを体験。「重いく！」と言いなながらも楽しそうな子どもたち。また、ファイバースコープで瓦礫内を探索する模擬体験もしました。

最後に東日本大震災時のスライドを観ながら、災害に備えておくことよい備蓄品等をみんなで作りました。子どもたちには生前のできごとですが、当学区は津波で被害が出た地区のため、引き続き折りに触れ防災について子どもたちに伝えていきたいと思えます。



丸森町

親子で汗を流しながら

通信員 菊地 利行



丸森町立丸森中学校PTAでは毎年夏休みに校庭の草取りや草刈りを重点に奉仕作業を行っていました。しかしここ2年はコロナ禍により中止にせざるを得ない状況でしたが、令和4年度は実施することができました。

希望する生徒も参加し、親子で汗を流しながら暑い中一生懸命作業する姿に、胸も熱くなりました。

中学校のすぐ脇にある阿武隈川の堤防路での草刈りも一生懸命行いましたが、管轄の国交省から勝手にやらないで欲しいと注意されてしまい、積極性が裏目に出る理不尽さも感じた奉仕作業になりました。



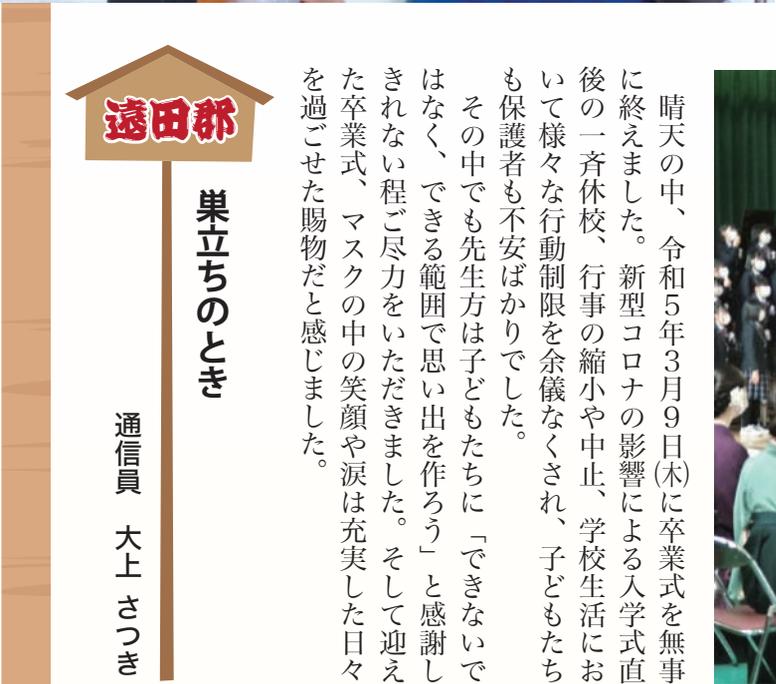
PTA

蔵王町

創立150周年を記念して

通信員 佐藤 洋三

蔵王町立円田小学校は、令和5年度に創立150年という節目の年を迎えます。それを記念して、令和3年度から2年間にわたって「円田小オリジナルカルタ」作りに取り組んできました。絵札や読み札には、地域や円田小学校の素晴らしさ、温かさ、歴史がたくさん詰め込まれています。作成に当たっては、PTAが中心となってバザーや、アルミ缶回収などを行い、たくさんの方々にご協力をいただきました。このカルタをきっかけとして、家族や地域の方との絆がより一層深まることを願います。



遠田郡

巣立ちのとき

通信員 大上 さつき

晴天の中、令和5年3月9日(木)に卒業式を無事に終えました。新型コロナウイルスの影響による入学式直後の一斉休校、行事の縮小や中止、学校生活において様々な行動制限を余儀なくされ、子どもたちも保護者も不安ばかりでした。その中でも先生方は子どもたちに「できないではなく、できる範囲で思い出を作ろう」と感謝しきれない程ご尽力をいただきました。そして迎えた卒業式、マスクの中の笑顔や涙は充実した日々を過ごせた賜物だと感じました。



気仙沼市

気仙沼市PTA連合会
地区セミナー開催

通信員 鮎貝 宗房

令和4年11月12日(土)に震災で流失し新しく再建された気仙沼市中央公民館において気仙沼市PTA連合会地区セミナーが気仙沼市家庭教育大会と併せ開催されました。地区セミナーでは講師に「教室の悪魔」(ポプラ社)の著者で心理学者の山脇由貴子氏を迎え「子どもと社会の現代のいじめ」大人のすべきことという演題で講演をいただきました。参加者からは「共感することが多かった」「具体的事例で分かりやすかった」「子どもの心に寄り添える大人になりたい」などの声が寄せられました。今回は感染予防を徹底しながら人数制限なしで実施しました。213名の参加者の内、保護者の参加は1割程度で、市P連のセミナーとしては運営に課題を残す形となりました。



お知らせ

<http://www.miyagi-pta.gr.jp/>
☎022-295-9581・9590



第39回広報紙コンクール 入賞結果



《令和4年度発行広報紙》

【小学校の部】

金賞

- 富谷市立日吉台小学校PTA
『ひだまり』
- 塩竈市立第一小学校父母教師会
『いずみ』
- 栗原市立築館小学校PTA
『杉』

銀賞

- 大崎市立第四小学校父母教師会
『虹 ～にじ～』
- 白石市立白石第二小学校父母教師会
『はぎ』
- 栗原市立宮野小学校父母教師会
『おもいやり』

佳作

- ・気仙沼市立月立小学校父母教師会
『やっせがわ』
- ・大崎市立川渡小学校PTA
『レインボー』
- ・栗原市立一迫小学校PTA
『みのり』

【中学校の部】

金賞

- 川崎町立川崎中学校PTA
『川崎中学校PTAだより』
- 栗原市立築館中学校PTA
『大樹』

銀賞

- 美里町立不動堂中学校PTA
『かけはし』
- 大崎市立三本木中学校PTA
『かしわ』

佳作

- ・大河原町立金ヶ瀬中学校父母教師会
『ふれあい』
- ・蔵王町立円田中学校父母教師会
『円田中学校 PTA会報』

○は全国コンクールに応募いたします。

公益社団法人 日本PTA全国協議会主催 国内研修事業 IN 渡嘉敷村

令和5年3月25日(土)～29日(水)に開催された国内研修では全国の仲間たちと貴重な経験をさせていただきました。沖縄の美しい海でのカヌー体験やシュノーケリングでは赤や青の魚や海亀を間近でみる事ができました。また沖縄の高校生による「エイサー」という踊りに感動し、実際に踊って難しかったのですが、楽しい体験になりました。

その他にも各班で意見を発表する時には個性や方言等を認め合い、意見を出す事ができました。

この研修では思いやりや協力することの大切さと改めて学び、充実した5日間となりました。



富谷市立富谷中学校 齋藤 大耀

期限までの納入にご協力願います！

県P連は、会員の皆さまから納入いただく会費で運営しています。

会員の福祉の向上と児童生徒の健全な成長を図るため、計画的に事業に取り組むとともに、その事業の在り方等について見直しを行いながら、適切な運営に努めています。

県P連会費は、期限9月30日(土)までに納入いただくよう、ご理解とご協力をお願いします。

編集後記

今年の5月から新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、様々な活動がコロナ前に戻り始め、各単Pや地区P、市Pにおいても何年ぶりの開催が多くなっていると思われます。

一度に前のように戻すには、大変だと思しますので、可能なものから取り組んでいただければ良いかと思われます。

コロナ禍の3年間は「ダメダメ」でしたが、これからはどうすれば「ヤルヤル」に変えられるか？そのヒントにこの「PTAみやぎ」を参考にいただき、各単Pの活動から自分たちの団体にあったやり方がきっと見つかると思います。

子どもたちが卒業する時に「学校生活は密だった」と思えるように。そして、私たちも「PTAは密」と思えるようにこれからも共に頑張っていましよう。

今年度もよろしく願いいたします。

調査広報委員長 月岡 正博



環境に配慮した用紙・
インクを使用しています。

PTAみやぎ第190号 令和5年7月10日発行 年間購読料150円
発行所/宮城県PTA連合会・印刷/有限会社 南郷印刷